

メ デ ィ カ ル セ ン タ ー

1 教育目標

(1) 一般目標

当院は急性期一般病床，回復期リハビリテーション病床，医療療養病床を持つ地域多機能病院である。高度急性期および急性期疾患を中心に診療する愛知医科大学病院と違い，慢性期，回復期から急性期まで幅広い疾患を診療し，地域の多様なニーズに応えている病院である。

当院での実習を通じて地域医療の重要性を理解することを目標とする。

(2) 行動目標

態度

【クリニカル・クラークシップB】

1. 適切な身だしなみとなるように配慮する。
2. 実習開始時間の遵守をする。
3. 患者および診療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。
4. 患者および家族と信頼関係を築くことができる。
5. 患者および多職種のメディカルスタッフに挨拶ができる。
6. 実習に積極的に参加している意欲を伝えることができる。
7. 実習中に生じた疑問は積極的に担当教員に質問をすることができる。
8. 実習期間中に生じた疑問について自ら調べる習慣をつける。

知識

【クリニカル・クラークシップB】

1. 日常診療で高頻度に遭遇する疾患の原因，病態，治療について理解し，説明をすることができる。
2. 不明熱など，原因のわからない疾患の鑑別診断，治療について理解し，説明をすることができる。
3. 頻度の高い慢性期疾患の病態，診断，治療について理解し，説明をすることができる。
4. 在宅での医療，看護，福祉，介護の資源を理解し，説明をすることができる。
5. リハビリテーションを必要とする疾患の生活機能低下の機序の説明ができる。
6. 回復期リハビリテーション病棟の目的，適応，特徴について理解する。
7. 代表的な運動器疾患の病態，診断，治療について理解し，説明をすることができる。
8. チーム医療の重要性について理解する。

技能

【クリニカル・クラークシップB】

1. 患者の病歴の聴取と記録ができる。
2. 基本的な身体診察手技ができる。
3. 在宅患者および家族の心情に共感する態度を示すことができる。
4. 患者の社会的背景を理解し，配慮することができる。
5. 機能障害（拘縮，筋力低下，麻痺，歩行障害，心肺機能低下等）の診察ができる。
6. 多職種のメディカルスタッフとチーム医療を実践することができる。
7. 担当した症例について指導医と十分な議論ができる。
8. 症例発表で適切なプレゼンテーションができる。

2 実習要領

【クリニカル・クラークシップB】

1. 原則として予定表に従って行動する。
2. 主治医の一人であるという自覚を持って担当患者に接し、毎日必ず回診を行い、カルテ記載をする。
3. 指導医と綿密にコミュニケーションを取り、疑問が生じた場合は直ちに相談をする。
4. 入院患者を担当するだけでなく、総合診療科外来、専門外来（整形外科等）などの外来実習を行う。
5. 連携している在宅クリニックの訪問診療に同行し、在宅医療を経験する。
6. 当院訪問看護師の訪問看護に同行し、在宅医療を経験する。
7. リハビリテーション専門医の回診に同行し、回復期リハビリテーション病棟での実習を行う。
8. 総合診療科午後当番医師が行う救急車対応、予約外受診患者対応に同行する。
9. 療養病棟回診に同行する。
10. 実習最終週に担当症例について纏めたスライドを用いてプレゼンテーションを行う。

3 実習の評価方法

実習中の態度、知識、技能、積極性、担当症例のプレゼンテーションおよび行動目標の達成状況などを総合的に評価する。

4 クリニカル・クラークシップ指導員

職 名	教 員 名		
教 授	加藤 義郎	関 泰輔	勝野 敬之
准教授	飯田 章人		
講 師	北村 文也		
助 教	橋詰 玉枝子	安本 明弘	鈴木 麻友
	印南 智弘	與吾 一幸	
助教(医員)	柴田 絹子	猪谷 淳夫	石黒 裕季子
	尾上 晃一		

5 連絡先

場所（内線）	メディカルセンター 総務課（0564-66-2826）
E-mail	ykato4@aichi-med-u.ac.jp
	（加藤義郎）

6 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

【初日の集合時間／場所】

8:30／メディカルセンター北館2階 副院長室

実習する診療科により、予定表は適宜変更する。

担当となる指導医の外来日等の都合により、予定表は変更になることがある。

曜日	午 前			午 後		
	内 容	担当者	実習室	内 容	担当者	実習室
月	<第1週目> 8:30 オリエンテーション <第1-4週目> 総合診療科外来	加藤 安本	副院長室 外来	<第1-4週目> 整形外科外来	関 與吾	外来
火	<第1-4週目> 訪問診療に同行	加藤	いしぐろ在宅クリニック	<第1-4週目> 担当症例回診	安本、鈴木 北村	北3階病棟 南3階病棟
水	<第1-4週目> 総合診療科外来	鈴木 北村	外来	<第1-4週目> 担当症例回診	安本、鈴木 北村	北3階病棟 南3階病棟
木	<第1-4週目> 訪問看護に同行	齋藤	訪問看護ステーション	<第1-4週目> 総合診療科当番 <第4週目> 症例発表	北村 加藤、勝野	外来 講義室3
金	<第1-4週目> 訪問診療に同行	加藤	いしぐろ在宅クリニック	<第1-4週目> 総合診療科当番	安本	外来